

胆道閉鎖症検査の中止による変更点について

2023年4月24日付「胆道閉鎖症検査の中止について」のとおり、生後1か月児を対象とした、はがき回収による胆道閉鎖症検査については、2024年3月31日で終了することとなりました。

今後は、保護者による便色カードを用いた確認が主となりますので、変更点をお知らせいたします。

母子健康手帳（2023年度版）の変更点（※便色カードのイメージは裏面）

- ・便色カードの余白に便色確認の説明が追加されています。
- ・便色カードの余白に札幌市の胆道閉鎖症 Web サイトへの QR コードが追加されています。Web サイトでは、保護者向けに便色確認のポイント等の説明を行っています。
- ・「胆道閉鎖症検査用紙」（はがき）は封入されておられません。

便色確認方法の変更点

- ・はがき回収方式から、保護者自身が便色確認を行ったうえで、1か月健診等で医療機関へ相談を行う方法へ変更になります。
- ・保護者の確認方法と医療機関の皆さまへのお願いは、以下のとおりです。胆道閉鎖症の早期発見のために、今後ともご協力をお願いいたします。

保護者

- ・札幌市胆道閉鎖症Webサイトの確認
- ・便色確認
(①生後2週、②生後1か月、③生後1～4か月)
- ・便色カードに便色番号を記載
- ・生後4か月位までは便色に注意する

医療機関 1か月健診等

- ・便色カードに保護者が記載した便色番号の確認
- ・1～3番の場合、保護者へ確認
- ・専門医療機関への紹介（必要時）

今後のはがき回収について

はがきをお持ちでない方（札幌市外在住の方や、2023年度版母子健康手帳を交付された方など）

- ・保護者から求めがあった場合等を除き、新たにはがきを配布する必要はありません。

はがきをお持ちの方（2022年度版母子健康手帳を交付された方）

- ・これまで通り、はがきの回収、当所への郵送をお願いいたします。

便色カードで胆道閉鎖症をチェック！

- 胆道閉鎖症は、肝臓と腸をつなぐ胆管が詰まり、放置すると命にかかわる病気です。
早期発見、早期治療(外科手術)がとても大切です。
- 「**うんちの色が薄くなる・白っぽくなる**」
「皮膚の黄色味(黄疸)が続く」
「おしっこが濃い黄色になる」などの特徴があります。
- 便色カードで胆道閉鎖症の疑いを調べることができます。
下の説明をよく読んで、赤ちゃんのうんちの色をチェックしましょう！

①

① 便色確認の説明を追加

② 札幌市胆道閉鎖症 Web サイトの QR コードを追加



詳しい情報は札幌市の胆道閉鎖症 Web サイトへ

②

うんちの色に注意しましょう
明るいところでカードの色と見比べてください。

1番～3番に近い色だと思う

4番～7番だったのが1番～3番に近くなった

どちらかが当てはまるときは、胆道閉鎖症などの病気の可能性がありますので、1日も早く小児科医、小児外科医等の診察を受けてください。

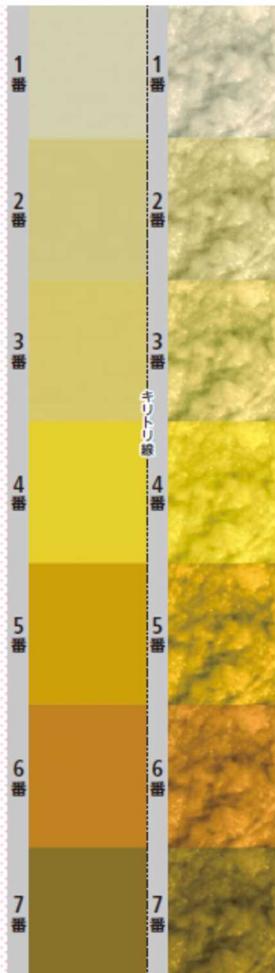
便色の記入欄（観察日と右欄に当てはまる色番号）

生後 2週			
年	月	日	番

生後 1か月			
年	月	日	番

生後 1～4か月			
年	月	日	番

生後4か月くらいまでは、うんちの色に注意が必要です。生後2週を過ぎても皮膚や白目(しろめ)が黄色い場合、おしっこが濃い黄色の場合にも、すぐに医師等に相談しましょう。



【参考資料「胆道閉鎖症早期発見のための便色カード活用マニュアル」】

「便色カード」の意義、使い方等についてまとめられております。Q&A 等も掲載されておりますので、適宜ご参照いただくと幸いです。(以下、厚生労働省の掲載ページ)



https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/boshihoken/dl/kenkou-04-06.pdf